

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/09/05 ～2021/11/04 )

### 1. 勉学の状況

私が所属している文献学部では9月12日に留学生に向けたオリエンテーションが開催されました。そこでは、履修登録に必要な書類の書き方や、帰国時に出身校に送る成績書類の申請方法など留学中の学問に関連する手続きについて詳しく説明されました。他学部にも所属する友人から話を聞く限りでは、学部によって履修登録の方法が全然違うように感じたのでオリエンテーションに参加してみてよかったです。履修登録期間はこの日から9月の24日の約2週間でしたが、履修登録をしないと studium という千葉大学で言う moodle のようなサイトのアカウントをもらうことができず、学生に配布されている授業のスライドや資料を見ることができないという不都合が起きるため丸々2週間授業を吟味することは厳しいと感じました。

無事に履修登録を終え、前期は文献学部で開講されているスペイン語文法に関する講義である Gramática para la Enseñanza の1と2、そして社会科学学部で開講されているスペインの社会福祉に関する講義である Historia del trabajo social y contextos de desarrollo という3つの講義を受講することにしました。

文法講義の1の授業は、先生の話し方と私の相性があまりよくなくリスニングだけでは前列に座って講義に参加しても正直あまり理解することができません。しかし、講義の前に先述した studium に掲載されるスライドを熟読したり、講義後に近くで受講していたスペインの学生にノートの写真を撮らせてもらえるようお願いしたりすることで何とか講義内容を把握することができています。また、何度か課題が出されましたが、そのどれもが25ページほどのスペイン語の論文を読み、問題を解いたり自分の意見を述べたりするものだったので友人とも協力しながら早めに取り組みました。

文法講義の2の講義は、先生との相性がよく講義の内容はだいたい理解することができています。しかし、講義中に思いがけず指名され発言しなければいけないことがよくありすぐに言葉が出てこず沈黙の時間を作ってしまうので、さらにスペイン語の力を伸ばすべく精進しなければと感じています。

スペインの社会福祉に関する講義は、他の講義が2時間開講なのに対してさらに1時間多い3時間での開講となっているので2時間を超えたところからは正直スペイン語を集中して聞くことが難しくなってきます。スペインの講義も日本の講義と同様に水分の持ち込みが可能なので、甘い飲み物で糖분을補給するなど自分なりに集中力を切れさせないように工夫しているのですが、まだまだ最後まで集中できていないので工夫を重ねたいです。

これらの講義の他にも週5日語学学校に通ってスペイン語を学習しています。私はまだまだ言葉に詰まることが多いので、会話中心で行われる語学学校の講義は力を伸ばすよい

機会になっていると感じています。また、ロシア、シリア、セネガル、インドネシアなど様々な国から生徒が集まっているため、どのようなテーマについて会話をしても文化や価値観の違いを見ることができて興味深いです。

## 2. 生活の状況

私は一昨年サラマンカ大学に留学されていた先輩からの紹介で、その方と同じピソというシェアハウス型のアパートに住んでいます。大学には徒歩 15 分、語学学校には徒歩 8 分、大きなスーパーには徒歩 5 分とどこに行くにも徒歩で移動することができて非常に便利な位置に住むことができていると感じています。同居人はポルトガル人の女の子とスペイン人の女の子の 2 人です。彼女たちはスペイン語がまだうまく話せない私にも積極的に話してくれるため、毎日様々な表現を覚えることができます。また、留学前は異国の地で寂しい思いをするのではないかなどと考えていましたが、家の中でご飯を食べたり、近くのスーパーに買い物に行ったりするときはお互いに誘い合わせて一緒に行動することが多いので寂しい思いをすることはほぼありません。ポルトガル人の女の子は一昨年の先輩がこのピソに住んでいた時からの住人ということもあり、日本人に伝わりやすいスペイン語で話してくれるため大体的な内容を理解できますが、スペイン人の女の子のスペイン語はスラング表現が多かったり、話すスピードが速かったりするので何度も聞き返すことが多いです。この同居人のスペイン人の女の子と対等に会話ができるようになるという目標がスペイン語を勉強するうえでの大きなモチベーションとなっています。

また、到着してすぐの週から、毎週木曜日に行われている日本人とスペイン人の交流会に欠かさず参加しています。多くの人に参加するので行くたびにたくさんの人と友達になることができ、非常に楽しいイベントです。私は料理をすることが好きなので、そこで仲良くなった友達と休日に一緒に日本食を作って食べるなど自分なりの方法で友人たちとの仲を深めようと頑張っています。この交流会に来るスペイン人の中には日本への留学経験があるなど日本語話せる人も多いため日本語で話してしまう瞬間もあるのですが、なるべく日本語を使う頻度を減らしていけるといいなと考えています。

スペインに来て約 2 カ月がたちますが、スペインでの生活は食べ物もおいしく、気さくな人が多いため良い友人達にも恵まれているため本当に楽しく過ごせています。残り 8 カ月、今の友人たちを大切にしつつ、さらに様々な出合いを求めて積極的に行動していきたいです。

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/11/05 ～2022/01/31 )

### 1. 勉学の状況

12月中旬に後期の授業が全て終わり、1月下旬のテストを経て1セメスターが終わりました。初めて授業を受けた9月にはなかなか授業内容を聞き取ることが難しかったのですが、日々の生活の中でリスニング力が向上し、以前よりは授業の内容を1度で理解することができるようになってきました。

私は3教科の講義を受講していたので、試験も3つありました。1つは選択肢のある試験で残りの2つは記述式の試験でした。記述式の2つの試験は辞書の使用が認められなかったため、スペイン語ですべてを理解するだけでなく、自分の言葉で説明できるようになるまで対策を行いました。理解できない部分はスペイン人の友人に相談をし、日本人の友人とともに問題を出し合いながら理解度を深めていく作業を行ったことで、本番ではどちらの試験も2時間という回答時間をフルに使って解答用紙3枚をしっかりと回答で埋めることができました。初めてスペインで試験を受けてみて、試験の内容自体はしっかりと復習を行っていけば解ける程度のもので多いのですが、私たち留学生にとっては頭の中では理解していてもスペイン語で説明できるレベルに達するまで相当な努力が必要だという点で大変ハードな試験期間だったと感じました。しかし、その分日本で授業していた講義の内容に比べて記憶への定着率が高く、知識が自分のものとなっているという自信にもつながっています。

また、今週末で10月から始まった語学学校の授業が終わります。語学学校では、その日ごとに扱う文法事項があり、習った文法を用いて基本的な問題を解いた後にペアになって会話の練習を行ったり作文の練習をしたりすることが多かったです。一人で文法書を読んで勉強するのは違い、習った後にすぐに実践できることで記憶への定着率が非常に高いなと感じています。今まで知識としては頭の中にあってもすぐに会話の中では使えないような状態だった表現が、実際に会話する際に使えるレベルまで発展するととても良い授業です。また、先生は必ず異国籍の生徒同士でペアになるように指示されるので、ペアワークの時間での会話でいろいろな国の人の考え方に触れられるのがとてもいい刺激になっています。また、互いの母語同士では会話できない相手とスペイン語を使って通じ合えるという喜びが更にいろいろな話ができるように頑張ろうという勉強のモチベーションに繋がっています。帰国するまでこの語学学校には通い続ける予定なので、後期もこの調子でスペイン語の能力を上げつつ、様々な国の価値観に触れていきたいです。

## 2. 生活の状況

サラマンカに住み始めてから5カ月が過ぎようとしています。最近のサラマンカは12月の寒さと天気のおそろしさからは一変し、朝晩以外は春のような温かきで雲一つない快晴になることが多く日本とは違う2月に驚いています。サラマンカは日本に比べてとても乾燥していて、お菓子がしけらないことや洗濯物がすぐに乾くことはとても重宝しているのですが、11月中旬ごろから目の上の皮膚が常にカサカサの状態になっています。日本ではこのような症状が出たことはなかったのですが、スペインの乾燥には耐えられなかったようです。ニベアクリームを塗っても、保湿を工夫しても一向に治る気配がないので、そろそろ病院に行かなければと考えています。サラマンカに留学に来る皆さんは必ず乾燥対策グッズを日本から持ってくるようにしてください。

話が大きく変わりますが、私はスペインに来て以来自炊をととても頑張っています。スペインのスーパーの特徴として、野菜や果物の安さが挙げられます。日本では高くてもなかなか買うことのできなかったマンゴーやマスカットなどがお手頃価格で手に入ります。そのため、毎食欠かさずに食物繊維をとることができ、日本にいた時よりも体の調子がよくなっています。また、乳製品も安いので頻繁にバターを使ってケーキを焼いています。スペインのケーキは重たい味のものが多く、フレッシュフルーツを使ったものなどはほぼ見かけないため、日本の味が恋しくなります。このような時に自分で作ることができると自分だけでなく周囲の人にも喜んでもらえるため、練習しておくことで非常に役に立ちます。お菓子に限らず、スペイン人の友人と一緒に互いの国の料理を作りあうと楽しく美味しく異文化交流ができるので留学に来られる皆さんには料理に苦手意識を持たずにチャレンジしてほしいと思います。

最後にサラマンカでの年末年始の様子をお伝えしたいと思います。

まず、クリスマスの日には友人とともにサラマンカ大学で日本語を教えていらっしゃる先生のお家にお招きいただきました。スペインで生活する人にとってクリスマスはとても大事な家族で過ごすイベントだったので留学生の私たちを招いてくださったことがとてもうれしかったです。先生のご家族はとてもフレンドリーに私たちに接してくださり、まるで本物の家族と過ごしているような温かい気持ちになることができました。

次に、大みそかの日には日本人の友人と帰省をしていないスペイン人の友人とともにスペイン年越し名物のぶどうを食べながら年越しをしました。12粒を鐘に合わせて食べることができれば幸せな一年になるというものなのですが、鐘のスピードが速く、最後のほうにはリスのような顔になってしまいました。しかし、チャレンジ自体は成功させることができたので素敵な一年になると信じています。

最後に、1月5日にサラマンカの街中で行われた Reyes Magos のパレードに参加しました。サラマンカは大きな町ではないので正直そんなに期待はしていなかったのですが、いざ参加してみると15分以上ディズニーランドのパレードのような乗り物が途切れることなく目の前を通り過ぎ、乗り物の中から投げられる飴を取るのに夢中になっていました。最前列

で見ることができたので約 70 個もの飴をもらうことができ、留学中 1、2 を争う楽しさでした。

このように素敵な年末年始を過ごすことができ元気をチャージすることができたので、今週から始まる後期の授業と残りの留学生生活を一日一日を大切にしながら頑張っていきたいです。

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/02/01 ～2022/06/17 )

### 1. 勉学の状況

年末年始の休暇が終わり、2月から後期の授業が始まりました。

私は留学と並行しながら就職活動を行う予定だったため、後期の授業は翻訳学部の日本語からスペイン語への翻訳の授業と、文献学部のアジア文化学の授業の2つを受講しました。どちらも日本やアジアに関連のある授業だったので、前期よりも授業中に発言できる回数が増えたように思います。

#### ・ Traducción directa1: japonés (traducción y documentación) 水 11-13 時、金 9-11 時

この授業は週に2回あり、雑誌や観光用の紹介文から小説まで幅広い内容の文章を扱いました。日本人の先生で、毎回朗らかに授業が進みます。話すスピードも聞きやすいです。文章を読んだ時の感覚や音読など、日本人学生ならではの活躍ポイントを与えていただけるので、授業に主体的に参加できる喜びを感じられます。課題は2回に1度出る程度で、どれも15分ほどで終わると思います。2カ月に1度はペアワークの課題が出ますが、この授業にいるスペイン人はみんな日本語を学んでいる人たちなので、楽しく進められると思います。

#### ・Sociedades de Asia Oriental 火曜、19:00-20:30

この授業は週に1度開講され、日本・韓国・中国・北朝鮮の社会について学びました。明るい先生で、授業中は笑いが起こるなど発言しやすい雰囲気での授業でした。先生の話すスピードもゆっくりで内容は理解しやすいですが、私たち日本人には先生の書く黒板の字の解読がかなり難しく、ノートをとるのは大変でした。ただ、アジア圏に興味のある学生が多いので、わからない時は近くに座っているスペイン人学生に質問するといつも快く教えてくれました。

オンラインで時差がある中での就職活動と授業の両立はかなり大変でしたが、同じ授業を受講していた友人たちに支えてもらいながら乗り越えることが出来ました。周囲の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

## 2. 生活の状況

留学生活後半戦が始まり、来たときよりもスペインの生活に慣れてきました。前期に仲良くなった友達と遊んだり、後期の翻訳の授業で仲良くなった友達とペアワークをしたり、映画館に行ったりとかなり充実した生活を送れています。コロナウイルスへの制限もかなり少なくなり、薬局や公共交通機関の中を除いてマスクの着用義務がなくなりました。コロナ前の生活に戻ったかのような感覚です。

そんな中、3月から就職活動が本格化しました。時差がある中での就職活動は毎日3時間ほどしかまとまって睡眠をとることが出来ず、スペイン語の学習や交流に使うことが出来る時間も多くはなかったため、周りの留学生との語学力の差に落ち込むことが多々ありました。そんな中でも、隙間時間に友人と会ったり、お気に入りのカフェで企業に提出する書類を作成したりすることで気分転換を図って乗り越えました。説明会が行われる3月はかなりつらい1カ月でしたが、自分を支えてくれる存在や場所の大切さを実感できた非常に有意義な1か月間でした。

最後に、留学生活全体を通して、常に自分の意見を持つことを意識できるようになりました。語学学校の授業や大学の授業、友達との会話に至るまで、スペインでの生活では常に自分がどう思うかを問われる環境だったと思います。結果、日本にいた時よりも自分の思いを大事にするようになり、自分のやりたいことに向かって積極的に行動できるようになりました。スペイン生活で学んだ自分の意見を持つことの大切さを今後も忘れず、どんな時でも自分の頭で考える姿勢を維持していきたいです。他にもスペインでの生活や出会いを通して、沢山の大切なことを学ぶことが出来ました。先生、留学生課の皆様、家族、友人など実りある留学生活となるよう支えてくださったすべての方々に感謝いたします。ありがとうございました。